

## 研究課題名「医療事故における、解剖・死亡時画像診断実施と死因判明度との関係に係る研究」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2015年10月1日から2025年12月31日までの間に、医療事故調査制度に基づき医療事故調査・支援センターに報告された院内調査報告書 3,230 例、および同制度に基づき同センターが作成したセンター調査報告書 225 例の対象事例となった医療事故で死亡した患者、当該患者の家族ならびに当該医療事故に関与した医療関係者が対象です。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：

本研究は、医療事故調査制度に基づく調査報告書を用いて、解剖及び死亡時画像診断（Ai）の実施と死因判明度との関連を明らかにし、医療事故における死因究明の質の向上及び医療安全対策に資する知見を得ることを目的としています。

研究方法：

2015年10月1日から2025年12月31日までに日本医療安全調査機構へ報告された院内調査報告書及び、日本医療安全調査機構が作成したセンター調査報告書を確認し、患者背景、解剖及びAiの実施状況等の情報を収集します。死因判明度を評価した上で、解剖及びAiの実施状況との関連について統計学的に解析します。研究に当たり、新たな検査や治療等はいりません。

研究期間（情報利用期間）：2026年8月12日 ～ 2028年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では血液試料等、患者固有の試料は用いません。日本医療安全調査機構が保有する医療事故調査報告書から、発生年、報告年、患者の年齢、性別、解剖の種類、Aiの実施有無、再発防止策の記載有無、起因した医療の種類及び死因判明度に関する情報等を収集し、解析に用います。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、過去にセンター調査対象事例に関与した方のうち、センター調査報告書を本研究に用いないことを希望される方は、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもご連絡された方に不利益が生じることはありません。

研究責任者

一般社団法人 日本医療安全調査機構 常務理事 宮田 哲郎

連絡先：

本研究に関するご質問、ご相談・苦情又は研究への参加拒否（オプトアウト）のご希望がございましたら、下記までお問い合わせください。

一般社団法人 日本医療安全調査機構 事務局

〒105-0013

東京都港区浜松町2-8-14 浜松町TS ビル2 階

TEL:03-5401-3021 FAX:03-5401-3022

E-mail: rinri.anzen@medsafe.or.jp